



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月26日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 4393 URL http://www.boi.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO経営管理部長 (氏名)河内 三佳 (TEL)03-4400-1817
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	3,383	△12.6	483	28.9	474	31.3	324	30.1
2018年9月期第3四半期	3,868	—	375	—	361	—	249	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年9月期第3四半期	83.21		82.51					
2018年9月期第3四半期	70.00		—					

- (注) 1. 当社は第3四半期の業績開示を2018年9月期より行っているため、2018年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 2018年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2019年9月期第3四半期	3,246	1,354	1,354	41.7		
2018年9月期	2,811	1,112	1,112	39.6		

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 1,354百万円 2018年9月期 1,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	3,924,000株	2018年9月期	3,896,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	58,635株	2018年9月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	3,898,421株	2018年9月期3Q	3,561,659株

(注) 当社は、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続くことが期待されました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動等、先行きが不透明な状況が続いております。

当社の事業領域であるスマートフォンゲーム業界を取り巻く環境におきましては、国内市場の成熟化とヒットへの難易度が高まっている中、海外勢を含む多数の新規タイトルが日々参入し、激しい企業間競争が続いている状況にあります。

このような事業環境のもと、当社は「幻獣契約クリプトラクト」では4周年記念キャンペーンや1,200万ダウンロード突破記念のキャンペーンを実施し、「ミトラスフィア」では新機能の実装アップデート等に取り組むなど、お客様満足度の向上に注力いたしましたが、継続的に取り組んでいるプロモーションの効率化が影響し、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。その一方、広告宣伝費が抑制されたことにより販売費及び一般管理費が減少し、利益の拡大に繋がりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,383,062千円（前年同四半期比12.6%減）、営業利益は483,622千円（前年同四半期比28.9%増）、経常利益は474,476千円（前年同四半期比31.3%増）、四半期純利益は324,371千円（前年同四半期比30.1%増）となりました。

なお、当社はスマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は3,246,890千円となり、前事業年度末に比べ435,474千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が462,281千円増加、売掛金が41,277千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,892,332千円となり、前事業年度末に比べ193,839千円増加いたしました。これは主に、短期借入金150,000千円減少、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が307,896千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,354,557千円となり、前事業年度末に比べ241,635千円増加いたしました。これは主に、自己株式の取得による減少99,980千円と、四半期純利益324,371千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、既存タイトルの長期運営並びに自社IPとしての育成を行いつつ、高品質の新作タイトルを開発・運営することが、当社にとっての最重要課題であると認識しております。

2019年9月期第4四半期以降は以下の取り組みを行うことを予定しております。

① 新作タイトルの開発

本書提出日現在、RPGの新作2タイトルの開発を進めております。

いずれも当社にとって新たな主力タイトルとなるよう、当社の品質基準に妥協することなく、より高い品質を目指してまいります。競争優位性を高めるといった観点から、配信開始の目途が立つまで（β版が完成するまで）は新作の情報開示は控えるとともに、具体的な配信開始時期等についてはIR並びにニュースリリース等でお知らせする方針であります。

② 既存タイトルのIP展開

当社は、自社開発タイトルにおけるIP展開の拡大を通して利益の多角化を図っており、本書提出日現在においては、同業他社に対する当社既存タイトルの著作権利用許諾によってロイヤルティを受け取っております。

また、「ミトラスフィア」及び「幻獣契約クリプトラクト」の海外展開におきましては、諸般の事情により配信開始時期（予定）を変更いたしました。詳細につきましては、2019年7月26日公表「海外展開の配信開始時期に関するお知らせ」をご覧ください。

引き続き、当社のゲームをより多くの方に楽しんでいただけるよう、様々な取り組みを通してIP展開の幅を広げてまいります。

③ スマートフォンゲーム事業以外の新規事業

今後、スマートフォンゲーム事業以外の新規事業への進出を想定し、「ゲーム×サービス」及び「その他ITサービス」のプロトタイプ開発に取り組んでおります。事業化に関しては、本書提出日時点においては未定であります。スマートフォンゲーム同様に質の高いサービス開発を目指しております。

なお、業績予想については、前事業年度における業績予想値の連続的な乖離並びに上記の取り組みに向けて機動的な投資判断を実施する観点から、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。しかしながら、当社は上記の取り組みを通してさらなる成長を目指し、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,993,192	2,455,474
売掛金	600,440	559,162
その他	57,785	78,124
流動資産合計	2,651,418	3,092,761
固定資産		
有形固定資産	6,927	10,960
無形固定資産	3,809	2,494
投資その他の資産	149,260	140,675
固定資産合計	159,997	154,129
資産合計	2,811,415	3,246,890
負債の部		
流動負債		
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	508,750	499,320
未払金	364,896	304,334
未払法人税等	80,043	101,042
その他	168,925	244,432
流動負債合計	1,272,615	1,149,128
固定負債		
長期借入金	425,878	743,204
固定負債合計	425,878	743,204
負債合計	1,698,493	1,892,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,620	480,242
資本剰余金	449,060	457,682
利益剰余金	192,241	516,613
自己株式	—	△99,980
株主資本合計	1,112,922	1,354,557
純資産合計	1,112,922	1,354,557
負債純資産合計	2,811,415	3,246,890

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,868,603	3,383,062
売上原価	2,192,334	2,145,012
売上総利益	1,676,268	1,238,050
販売費及び一般管理費	1,300,935	754,427
営業利益	375,333	483,622
営業外収益		
受取利息	25	30
物品売却益	155	34
営業外収益合計	181	64
営業外費用		
支払利息	8,897	7,006
支払手数料	1,527	2,199
株式公開費用	3,739	—
その他	0	4
営業外費用合計	14,164	9,210
経常利益	361,350	474,476
税引前四半期純利益	361,350	474,476
法人税等	112,018	150,104
四半期純利益	249,331	324,371

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社はスマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。